柏市立図書館員おすすめ本

よんでみませんか 2026年

【３・４年生向け】

しあわせなハリネズミ



藤野　恵美／作　小沢　さかえ／絵
講談社

思ったことをそのまま口に出してしまうハリネズミには友だちがいません。
ひとりしずかに歩き，考えることがすきでした。
ある日，どろだんごをつくるモグラに出会います。

とら猫（ねこ）とおしょうさん
日本昔ばなし



おざわ　としお／再話　かないだ　えつこ／絵
くもん出版

むかし，びんぼう寺（てら）にねこをかわいがるおしょうさんがいました。
夜になるとどこかへでかけるねこをふしぎにおもい，こっそりあとをつけていきました。そこにあったのはこわれかけた古寺（ふるでら）でした。

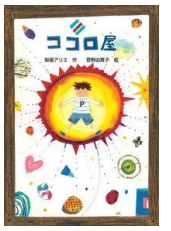
とうもろこしおばあさん
アメリカ・インディアン民話



秋野　和子／再話　秋野　亥左牟／画
福音館書店

ネイティブ・アメリカンに伝（つた）わる，トウモロコシの起源（きげん）について書かれた昔話。トウモロコシを食べるとき，このお話を思いだすことでしょう。
一度読んだら記憶（きおく）に残（のこ）るお話です。

ココロ屋（や）



梨屋　アリエ／作　菅野　由貴子／絵
文研出版

コココ，ココロ，コロコロ，ココロ……
目には見えない「ココロ」が，ぼくを動かしていて，ぼくはどうしてこうなったんだろう？
「ココロ」とは何か，考えるきっかけになるお話です。

生きものたちのスゴ技図鑑
食われてたまるか編



村田　浩一／監修　ジョゼッテ・リーブス／著
アジア・オーランド／絵　片神　貴子／訳　さ・え・ら書房

どんな生き物（もの）も食べなければ生きていけません。生きぬくためのスゴ技（わざ）！　こんなことまでするのかとおどろきです！　カモフラージュや，死（し）んだふりはもちろんのこと，食われないためのサバイバル術（じゅつ）がまんさいです。

火曜日のごちそうはヒキガエル
ヒキガエルとんだ大冒険　1



ラッセル・E・エリクソン／作　ローレンス・ディ・フィオリ／絵
佐藤　凉子／訳　評論社

ウォートンはおばさんの家へとどけ物（もの）をするとちゅうでミミズクにつかまってしまいました。
つかまったウォートンはミミズクに食べられてしまうのでしょうか？
さむい冬（ふゆ）の心があたたかくなるお話です。

おどる詩（し）あそぶ詩（し）きこえる詩（し）



はせ　みつこ／編　飯野　和好／絵
冨山房インターナショナル

ことばが躍（おど）る。ことばがはねる。
ぜひ声に出して読んで，いろいろな詩（し）の，いろいろなことばの音をきいてみよう！

教室はまちがうところだ



蒔田　晋治／作　長谷川　知子／絵
子どもの未来社

みんなのまえで，手をあげて，答えたりするのははずかしい？
まちがったらどうしようって思うから？
でも，教室はまちがっていいところ。
教室はまちがうところだ。

たべてみて!
フリーダ・キャプランがひろげた食のせかい



マーラ・ロックリフ／文　ジゼル・ポター／絵
福本　由紀子／訳　BL出版

キウイフルーツ，マッシュルーム……。今ではすっかり身近（みじか）にある食べ物を，アメリカの市場で最初（さいしょ）に売り始めた人が，この本の主人公です。
道なき道を切り開いた行動力をぜひ感じてみてください。

モチモチの木



斎藤　隆介／作　滝平　二郎／絵　岩崎書店

ある夜，じさまがたおれ，よなかにセッチンにもいけないおくびょうな豆太は，ゆうきを出して夜のとうげをかけおります……。
うつくしくはくりょくのある絵は，柏にゆかりの切り絵作家で版画家（はんがか）の滝平二郎（たきだいらじろう）の作品です。

柏市立図書館のホームページにも掲載しています。ご覧ください。

さしえとタイトル　大野　隆司・版画

柏市立図書館
電話　０４－７１６４－５３４６
https://tosho.city.kashiwa.lg.jp/